人穴小 学校だより

ふれあい

令和３年　　1月28日
富士宮市立人穴小学校
第９号

ＴＥＬ５２－００４０

ホームページ　http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-school/14hitoana/

学校教育目標　『自らをきたえ　共に生きる子（自尊・他尊・共存）』

「鬼を追い払い、健康で幸せな一年を…」

校長　柏木　武文

立春をむかえ、暦の上では春の始まりとなります。実際には、まだまだ寒い日が続いていますが、子供たちは変わらず元気で、３学期は欠席「０」が続いています。何よりもうれしいことです。御家庭での健康管理のおかげと感謝しております。この寒さを乗り越えるともうすぐ春です。冬から春に変わるこの季節の分かれ目は、ほかの季節とは違う特別なものを感じます。２月の朝礼では、季節の変わり目、節分と立春について以下のような話をする予定です。

今年の立春は、２月３日です。その前日の２月２日が節分です。一年を四つの季節に分ける言い方は日本では一般的で普通に使われています。立春のほかに、立夏、立秋、立冬があります。でも、その前日の節分については、元々季節の分かれ目ですから四回あるものなのに、立春の前日だけが今も使われています。一年の始まりを春と考え、この季節の分かれ目は特別大切にされていたことが分かります。

さて、節分と言えば、「鬼」「豆まき」などが思い浮かびます。昔の人は、病気や災害のようなよくないできごとは、鬼の仕業と考えていたようです。魔物という表現もしていました。特に、季節の変わる節分の夜は、普段姿を隠している鬼や魔物が表れやすいと考えられていたそうです。そこで、節分の日に、家や自分の中の悪い鬼や魔物を追い払い、新しい年が健康で幸せな年になるようにと願いを込めて、鬼を追い払う、豆まきをするようになったということです。

鬼というと皆さんは『鬼滅の刃』が、すぐに思い浮かぶと思います。鬼滅の刃では鬼をやっつけるのに日輪刀を使いますね。鬼や魔物を追い払うのに別の物を使うこともあります。お正月や神社で見かける「破魔矢」もそうかもしれませんね。節分では、鬼を追い払うのに豆を使いますね。これは「魔目（まめ）」＝「魔（鬼）の目」に豆をぶつけて、「魔滅（まめつ）」＝鬼を滅するという語呂合わせという説もあるようです。おもしろいですね。「鬼滅の刃」ではなく「魔滅の豆」らしいです。

「鬼滅の刃」の日輪刀はいろいろな色がありますが、昔から言われている物語などに出てくる鬼にも、いろいろな色がありますね。ちょっと調べてみたら、鬼の色には意味があるって考え方もあるようです。赤鬼は、いろいろな物を欲しがる欲しがり鬼。青鬼は、すぐに怒るぷんぷん鬼。緑鬼は、やるきが出ないだらだら鬼。健康に悪い鬼ですね。黒鬼は、周りの人を疑ってよくないことを言ってしまううたがい鬼。黄鬼や白鬼は、自分勝手な甘えんぼ鬼だそうです。どうですか？自分が追い払いたい鬼が出てきた人もいるのではありませんか？どんな色の鬼を退治したいかなって考えると、自分の直したいことをはっきりさせるのに役立ちそうですね。きっと、いつの時代もよりよい自分になろうと考えて行動する気持ちが大切にされていて、そのために分かりやすいように工夫して、よくない鬼を色分けして表現したのでしょうね。

２月、いよいよ令和２年度の終わりに近付きます。この時期に是非、今年の自分をもう一度、しっかり振り返ってください。振り返ったら皆さんにしてほしいことは大きく二つです。一つは、今の学年の間にもっとできるようになりたいことや、挑戦しておきたいことに、思い切って取り組んで一年のしめくくりにしてください。今からでも遅くありません。二つ目は、「なりたい自分」をイメージし、新しい学年に向けてしっかり目標を持ってください。節分の日には、ぜひ家族の皆さんと豆まきをして、自分の中の鬼を追い払い、今年１年の幸せを願いましょう。